

作文コンクール 優秀賞

(奈良県町村会長賞)

「北方領土の返還に向けて」

御所市立葛上中学校 上田 優斗

北方領土は、「歯舞群島」「色丹島」「国後島」「択捉島」の北方四島のことをいいます。日本固有の領土にも関わらず、現在ロシアによって不法に占拠されています。不法に占拠されるまでにはどのような経緯があったのでしょうか。

1855年、日魯通好条約が結ばれ、当時、自然に成立していた択捉島とウルップ島の間を国境を確認しました。その後北方領土は日本の領土のままだった。1941年太平洋戦争が始まった。日本とソビエト連邦は、お互いに侵攻しないことを約束する日ソ中立条約が結ばれていた。だが、日本の敗戦がみえてくると1945年ソビエト連邦は日ソ中立条約を延長せず、その後突然日本に宣戦布告した。宣戦布告の数日後の8月14日、日本はポツダム宣言を受諾した。日本の無条件降伏で戦争は幕を下ろした。ところが、ソビエト連邦は、ポツダム宣言後も攻撃を続け北方四島を占領しました。そしてソビエト連邦は連合国が大西洋憲章やカイロ宣言で「領土の不拡大」を取り決めていたにもかかわらず、1946年にソビエト連邦の領土に編入しました。カイロ宣言は、「暴力及び貪慾により日本が略奪した地域から日本は追い出さなければならない」と宣言しているが北方四島は過去一度もロシア領土や外国領土になったことはなく、日本固有のためこの宣言にあたらないことは確かです。当時、北方四島には17000人程の日本人が暮らしていましたがその人たちは日本本土に強制的に追いだされました。このときからロシアによる不法占拠が続いています。

この歴史をみると日本に悪いところはないことが分かります。この歴史を日本の多くの人を知ることや日本政府が北方領土についてもっと発信していくことが北方領土の早急な返還につながると私は思います。この歴史を知っていないと北方領土について日本政府が発信しても興味を持たないかもしれませんが、知っているとも自然と発信した内容に興味を持つはずで、さらに日本政府は、知らない人にも知ってもらえるようにポスターや広告で発信すべきだと思います。

北方領土が早急に返還されるかは、日本人や日本政府の行動や意識にかかっています。